



◇残暑が続く秋◇

暑い日が続いておりましたが既に8月7日からは立秋となりました。暦の上では秋の始まりとなりますが、今年の秋は平年よりも気温が高く、厳しい残暑が続くと予想です。

また、新型コロナウイルス感染拡大が広がり続ける昨今、家にいる時間が増えているかと思えます。

9月になっても快適生活には、エアコンを利用する事が続きそうです。このエアコンをコンディションの良い状態で使い続けるためには、しっかりとしたお手入れが必要です。フィルターが汚れて詰まってしまうと、エアコン本体に負荷がかかり、エアコンの寿命が短くなってしまいます。

◇エアコンのメンテナンス◇

昨今は、エアコンメーカー各社から「自動お掃除機能」が搭載されている機種が多く販売されております。エアコンの中でも主にフィルターを自動洗浄・清掃する機能であり、取ったホコリはダストボックスというゴミ箱に溜まります（機種によって外部排出タイプもあります）。

フィルターの定期的なお手入れは少なくなりますが、お手入れを全く行わなくて良い機能ではありません。

また、ダストボックスに溜まったホコリは定期的な除去も必要です。「自動お掃除機能」が搭載されたエアコンは、見た目は従来のエアコンと殆ど変わりません。

ご使用になっているエアコンに「自動お掃除機能」が搭載されているのか確認する場合は、操作リモコンの確認、また室内機の前面パネルを開いて確認します。

「自動お掃除機能」が搭載されているエアコンは、パネルを開くとダストボックスが手前についている機種が多いようです。搭載されていない場合は、パネルを開けてすぐにフィルターの取り外しが出来ます。

各社で稼働する条件は異なりますが、一定時間経過した時点で強制的にフィルターお掃除を行う場合や運転を停止した後でフィルターお掃除を行うなど各社様々です。

「自動お掃除機能」の頻度や環境によっては、ダストボックスがいっぱ

いになり「自動お掃除機能」は稼働しなくなることがあります。

定期的にメンテナンスサインでお知らせする機能もあり、メンテナンスサインでお知らせされている間は「自動お掃除機能」は稼働しません。

また、メンテナンスを行った後でお手入れリセットを行わなければ、この「自動お掃除機能」が稼働しなくなる場合もあります。

◇エアコンメーカー各社の「自動お掃除機能」◇

■パナソニック

フィルターお掃除ロボットは、フィルターについたホコリを除去します。ナノイーXや内部クリーン、カビ見張り機能でエアコン内部のカビや嫌な臭いの元をカットします。

■富士通ゼネラル

フィルター自動お掃除機能で、フィルターの汚れをブラシで除去します。ダストボックスタイプで取り外して清掃も可能です。内部クリーン機能では運転停止後に内部クリーン運転でエアコン内を乾燥させ水分を取り除きます。

■三菱電機

フィルターお掃除機能が、自動でフィルターを清掃します。10年相当の大容量ダストボックスが付きます。また、エアコン内部もカビクリーンシャワーやピュアミストでカビ予防を行います。

■シャープ

フィルター自動お掃除機能では、裏表両方をブラシでホコリを掻き出し、ホコリを除去します。また、アルミフィン部分は、ドレン水で汚れを浮かせて洗い流し、熱交換器クリーニング機能付きです。送風で乾燥させるほか、プラズマクラスターイオンでカビの増殖を抑えます。

■東芝

フィルターお掃除機能はダストボックス方式になり、溜まったホコリは取り出し不要で、掃除機で吸い取ることが出来ます。また、熱交換器に付いた汚れも、自動で洗浄して排出される仕組みです。セルフクリーニング機能で、自動的に乾燥運動し汚れの付着も防ぎます。

■ダイキン

フィルターお掃除機能は、フィルターのホコリをブラシで落とすダストボックスに溜めます。独自の「ストリーマ」を搭載し、熱交換器や気流通路に照射することで、エアコン内部を乾燥させてカビを予防しています。各種エアコン機能を把握しておくべきです。

(著 研究開発室・小泉貴徳)